

今の自分と未来の自分と

さいたま市教員等資質向上指標 (キャリアnavi) 【栄養教諭】

キャリアステージ	キャリア段階			
	採用時	キャリア段階Ⅰ 基礎形成期(1年~5年)	キャリア段階Ⅱ 伸長期(6年~15年)	キャリア段階Ⅲ 充実期(16年~)
求められる資質	教育に対する知見を深め、基盤を形成する。	組織の一員として教育活動を展開し、教員としての基礎・基本を身に付ける。	組織運営に参画したり実践的な専門性を高めたりする。	組織運営を推進したり、模範となる実践を展開したりする。

さいたま市が求める教師像：「豊かな人間性と社会性」「強い使命感と教育への情熱」「幅広い教養と実践的な専門性」を備えた常に学び続ける教師	教職に必要な素養	土台となる資質	新しい時代における教育の意義や役割の理解、法令を遵守すること及び教育的愛情をもって教育活動を展開することの重要性を理解している。	「令和の日本型学校教育」を踏まえた新しい時代における教育、学校及び教職の意義や社会的役割・服務等を自覚するとともに、常に学び続けようとしている。 ・自らの働き方を振り返り、日々の生活の質や教職人生を豊かにしている。 ・教育的愛情や人権意識をもち、円滑なコミュニケーションにより、良好な人間関係を構築している。			
		学校運営(給食室)	学校組織や校務分掌、給食室運営に関する基礎的・基本的な知識・技能を理解している。	学校教育目標を踏まえて給食業務や食育指導の方針を立て、組織の一員として役割を自覚し、給食室運営をしている。	自身や学校の強み・弱みを理解し、他の教職員との協力や関わりを通じて学校運営及び給食室運営を推進・改善している。	自身や学校の強み・弱みを理解し、他の教職員と協力するとともに、業務改善を意識した環境づくりを支援するなど、学校運営及び給食室運営の推進・改善に向けた指導的役割を担っている。	
		危機管理	危機管理の重要性、危機発生時の迅速な行動について理解している。	他の教職員と連携し、危機の未然防止、迅速な対応を行っている。	危機の未然防止、迅速な対応、再発防止を組織的に推進している。	危機の未然防止、迅速な対応、再発防止を組織的に推進するとともに、指導的役割を担っている。	
		連携・協働	家庭、地域との連携の重要性を理解している。	「地域とともにある学校づくり」を理解し、校内外の関係者と積極的に関わり、連携・協働した対応をしている。	「地域とともにある学校づくり」を目指し、校内外の関係者と積極的に関わり、連携・協働した対応をしている。	「地域とともにある学校づくり」を推進し、校内外の関係者と連携・協働した活動を企画・立案することができる。	
		栄養教諭の職務	食に関する指導(給食の時間の指導)	特別活動としての給食時間の指導内容について理解している。また、指導に必要な基礎的なスキルを獲得している。	年間計画に基づき、献立と関連づけた指導を行うとともに、学級担任に資料を提供している。	給食の時間における指導を食に関する指導の中核に位置づけ、学校教育活動全体で体系的な指導を実施している。	給食時間の指導の実践や経験を他校の栄養教諭に伝え、指導・助言している。
			食に関する指導(教科等の指導)	食に関する指導内容や食に関する健康課題について理解している。また、授業展開に必要な基礎的なスキルを獲得している。	食に関する指導の全体計画の作成に参画し、様々な教科等で児童生徒の実態に応じた指導を実践している。	様々な教科等の目標と食に関する指導を関連させ、学校教育活動全体で体系的な指導を実施している。	教職員や関係機関との交流を積極的に行い、食に関する指導の幅を広げるとともに、後進の育成に努めている。
			食に関する指導(個別的な相談指導)	個別的な相談指導に関する基礎的・基本的な知識・技能を獲得している。	食に関する健康課題を有する児童生徒への個別的な相談指導をしている。	発達段階や健康課題を踏まえた個別的な相談指導、校内の支援体制づくりをしている。	関係機関等と連携した対応、専門性を生かした指導・助言をしている。
			学校給食の管理(栄養管理)	学校給食栄養管理者としての役割や、計画的・組織的な栄養管理について理解している。	指導に生かせる「生きた教材」となるよう年間計画に基づいて献立を作成している。	学校給食に関する新しい動向や研究成果を積極的に取り入れ、特色ある学校給食の提供に生かしている。	市の学校給食の向上のため、他校の栄養教諭に指導・助言している。
			学校給食の管理(衛生管理)	学校給食の衛生管理は、学校給食衛生管理基準に基づき、適切に行うことを理解している。	学校給食衛生管理基準に基づき、適切に管理している。	学校給食施設・設備等の衛生管理上の課題を把握し、改善している。	これまでに培ってきた衛生管理の実践や経験を他校の栄養教諭に伝え、指導・助言している。
		生徒指導	児童生徒理解	児童生徒の権利を理解し、一人ひとりに受容的かつ共感的に働きかけるとともに、他の教職員等と連携し、児童生徒のよさや可能性を伸ばす成長・発達を支援している。	児童生徒の権利を理解し、一人ひとりの特性や心身の状況に応じた柔軟な働きかけを行うとともに、校内外の関係者と連携し、児童生徒のよさや可能性を伸ばす成長・発達を支援している。	校内外の関係者と連携したチームによる支援体制をつくることと、児童生徒の権利の理解に基づいた、よさや可能性を伸ばす成長・発達への支援について後進の育成をしている。	
		特別な配慮や支援を必要とする子どもへの対応	特別な配慮や支援を必要とする児童生徒への指導	一人ひとりの特性等を把握し、教育的ニーズに応じた適切な指導や支援を行っている。	一人ひとりの特性等を把握し、教育的ニーズに応じた適切な指導や支援を行っている。	実態把握と適切な支援に向けた校内体制の充実を図るとともに、より望ましい指導や支援について後進の育成をしている。	
		ICTや情報・教育データの利活用	ICT活用の意義や効果的な活用法を理解し、基本的なスキルを獲得しているとともに、教育データを適切に活用する意義と重要性を理解している。	栄養管理や食に関する指導等においてICTを適切に活用するとともに、教育データを適切に活用している。			
主幹教諭としてさらに必要な資質		ビジョンの具現化	校長の示す学校経営ビジョンを実現するために、組織の調整等を行い、適切な指導・助言をしている。				
		教育課程の編成・実施及び評価・改善	学校教育目標を実現するための教育課程を編成し、校内の体制を整え、教育課程の実施及び評価・改善について、適切な指導・助言をしている。				
		人材育成	教職員の能力や適性を把握し、キャリアステージに応じた指導・育成を適切に行っている。				